



64-bit Microsoft® Windows® Itanium 版 SAS® 9.2 Foundation システム必要条件



著作権情報

このマニュアルの正確な書籍情報は、以下のとおりです。

System Requirements for SAS® 9.2 Foundation on Microsoft® Windows® for 64-Bit Itanium-based Systems

Copyright © 2008, SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.

本書は、発行元であるSAS Institute, Inc.の事前の書面による承諾なく、この出版物の全部あるいは一部を、電子データ、印刷、コピー、その他のいかなる形態または方法によって、複製、転送、または検索システムに保存することは禁止されています。これらの説明書は著作権により保護されています。

著作権保護を受ける本書の使用の範囲は制限されています。許される使用の範囲とは、使用者のシステムに保存して端末に表示すること、本書が提供された目的である、SAS プログラミングおよびライセンスプログラムのインストール・サポートの責任者が使用するために、必要な部数だけコピーすること、および特定のインストール要件を満たすように内容を修正することを指します。本書の全部あるいは一部を印刷する場合、またはディスプレイ媒体に表示する場合は、SAS Instituteの著作権表示を明記する必要があります。上記の条件以外で本書を複製または配布することは一切禁止されています。

アメリカ合衆国政府の制約された権限についての通知

アメリカ合衆国政府による、本ソフトウェアおよび関連するドキュメントの使用、複製、公開は、「FAR52.227-19 Commercial Computer Software-Restricted Rights」（1987年6月）に定められた制限の対象となります。

SAS Institute Inc., SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513.

SAS®およびSAS Instituteのプロダクト名またはサービス名は、米国およびその他の国におけるSAS Institute Inc.の登録商標または商標です。

®は米国で登録されていることを示します。

その他、記載されている会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

システム必要条件について	1
必要なソフトウェア	2
インストールの準備	2
管理者権限	2
アンチウイルスソフトウェアおよびファイアウォールソフトウェアを終了する	2
オペレーティングシステム	2
Windows環境	2
必要なハードウェア	3
64-bit Microsoft Windows Itanium版SAS 9.2 Foundation	3
サポートしている機種	3
メモリ容量	3
モニタ	3
追加機能	4
SAS 9.2 におけるユーザーのインストールの注意点	4
インターネットへのアクセス	4
Webブラウザ	4
SAS Systemビューア	4
動的データ交換 (DDE)	5
電子メール	5
Lotus Notes	5
SAS Service Configurationユーティリティ	5
必要なディスク容量	6
DBCSサポート	6
DBCSサポートの表についての注意	6
国際言語サポート (NLS : National Language Support)	7
アジア言語サポート (ALS)	7
プロダクト要件	9
Base SAS	9
SAS High-Performance Forecasting	9
SAS/ACCESS Interface to DB2	9
SAS/ACCESS Interface to ODBC	9
SAS/ACCESS Interface to OLE DB	10
SAS/ACCESS Interface to Oracle	10
SAS/ACCESS Interface to PC Files	11

SAS/AF	12
SAS/CONNECT	12
SAS/EIS	12
SAS/GIS	13
SAS/GRAPH	13
SAS/IntrNet	14
CGIツールとアプリケーション	14
Application Dispatcher	14
htmSQL	14
MDDDBレポートビューアアプリケーション	14
Xplore Sample Webアプリケーション	14
Design-Time Controls	14
Java Toolsとアプリケーション	14
SAS/CONNECT Driver for Java	14
トンネル機能	14
SAS/LAB	15
SAS/OR	15
SAS/QC	15
SAS/SHARE	15
SAS/TOOLKIT	15
グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性	16
プリンタ	16
他のグラフィックソフトウェアとのインターフェイス	17
ActiveXとJavaデバイスドライバによって作成されたHTMLファイルの閲覧	17

システム必要条件について

このドキュメントには、64-bit Microsoft Windows Itanium版SAS 9.2 Foundationをインストールし、実行するためのシステム必要条件が記載されています。SAS 9.2 Foundationを実行する前に、最低条件を満たすようにお使いのシステム環境を更新する必要があります。

このドキュメントに記されている主なシステム必要条件は、以下のとおりです。

- 必要なソフトウェア
- 必要なハードウェア
- 追加機能
- 必要なディスク容量
- プロダクト要件
- グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性

システム必要条件に関する最新情報やその他の追加情報を参照するには、SASインストールセンターWebサイトを参照してください。

英語版：

<http://support.sas.com/documentation/installcenter/>

日本語版：

<http://www.sas.com/japan/service/documentation/installcenter/>

必要なソフトウェア

インストールの準備

管理者権限

SAS 9.2をインストールするには、システム管理者権限が必要です。

アンチウイルスソフトウェアおよびファイアウォールソフトウェアを終了する

System Requirementウィザードを起動する前に、アンチウイルスソフトウェアおよびファイアウォールソフトウェアを終了させることをお勧めします。いくつかのアンチウイルスおよびファイアウォールソフトウェアは、SASをインストールする上で障害となります。

アンチウイルスおよびファイアウォールソフトウェアを終了できない場合、この構成でインストールするおよびレジストリを更新する権限があるかどうかを確認してください。アンチウイルスおよびファイアウォールを終了することが許可されず、かつSASのインストールが失敗する場合、システム管理者に問い合わせてください。

オペレーティングシステム

Windows 環境

SAS 9.2 Foundationがサポートする環境

- Microsoft Windows Server 2003, Enterprise Edition for Itanium-based Systems (Service Pack 1を適用したもの)
- Microsoft Windows Server 2003, Datacenter Edition for Itanium-base systems (Service Pack 1を適用したもの)

推奨するファイルシステム

ロングファイル名をサポートするファイルシステムをご使用ください。
NTFSファイルパーティションを推奨します。

必要なハードウェア

64-bit Microsoft Windows Itanium 版 SAS 9.2 Foundation

64-bit Microsoft Windows Itanium 版 SAS 9.2 Foundation のインストールにおけるハードウェアの必要条件是、次のとおりです。

サポートしている機種

- Intel Itanium プロセッサファミリを搭載したマシン

メモリ容量

Microsoft Windows Server 2003 for Itanium-based System

- 最低1GB。より快適な動作にはそれ以上
- 最低1GB以上のスワップファイル領域

モニタ

- SVGA（解像度：800x600以上）

追加機能

SAS 9.2 におけるユーザーのインストールの注意点

SAS 9.2 Foundationへアップグレードする場合、これらの機能のいくつかは以前のSASでは利用できなかった新しい機能であることに注意してください。

インターネットへのアクセス

SAS 9.2 Foundationのインストール関連のドキュメントの最新版は、インターネット経由でSASインストールセンターからダウンロードできます。また、SASテクニカルサポート関連の情報もインターネット経由で参照できます。

Web ブラウザ

SAS 9.2 Foundationは、以下の2つの機能でWebブラウザを使用します。Windows Serverと共にインストールされるInternet Explorer 6 (Service Pack 2を適用) は、SAS 9.2 Foundationのシステム必要条件を満たしています。

1. 出力結果を、SAS 9.2のOutput Delivery System (ODS) 機能を使用してHTML形式で表示することができます。基本的にはどのブラウザでも表示できますが、Internet Explorer 6 (Service Pack 2を適用) 以降を使用するとSAS 9.2 FoundationのウィンドウにODS出力を表示できます。他のブラウザを使用したときは別ウィンドウに表示されます。
2. SASヘルプやドキュメントはMicrosoft HTMLヘルプビューアがサポートするHTML形式でコンパイルされ、Windowsアプリケーションと同様のレイアウトで表示されます。これは非常にコンパクトな形式であり、拡張された検索機能を持っています。Internet Explorer 6 (Service Pack 2を適用) 以降をインストールすると、最高レベルの機能が提供されます。

SAS System ビューア

SAS Systemビューアは、Windows環境で使用するビューアで、SASデータファイルや、他のテキストファイルなどを閲覧することができます。SAS 9.2 Foundationのインストールや起動は必要はありません。このアプリケーションは無償で他の人に配布することが可能です。

SAS Systemビューアでは、ローカル上またはネットワーク上に存在する以下の形式のSASデータセットやSASカタログを閲覧することが可能です。

- Windows版SAS 9またはSAS 9.2 Foundationで作成されたSASデータセット。
- Windows版SAS 8で作成されたSASデータセット。
- Windows、OS/2、DOS版SAS 6で作成されたSASデータセット。これらのデータセットは圧縮/暗号化されていてもかまいません。暗号化されているデータセットを閲覧しようとする、パスワードを入力するように促されます。
- Windows版またはOS/2版のSAS 6.04~6.12で作成されたSASカタログ。
- SASプログラム (.sasファイル)、出力リスト (.lstファイル)、ログファイル (.logファイル)、構成ファイル (.cfgファイル)。

- ローカル上またはネットワーク上に存在する、SAS社のJMPで作成されたファイル (.jmpファイル)。
- その他のASCIIテキストファイル。
- SAS 9またはSAS 9.2 Foundationで作成されたHTMLページ。

他のプラットフォーム (VMS、Macintosh、UNIX、OS/2、Windows、DOS) 上のSAS 6で作成されたデータセットやカタログも、ディスクやファイルサーバから閲覧したりHTTPやFTPネットワークプロトコルを使用して閲覧することができます。

SAS Systemビューアをインストールするには、4.8MBのディスク容量が必要です。SAS Systemビューアの詳細は、『64-bit Microsoft Windows Itanium 版SAS 9.2 Foundation ユーザーインストールガイド』の「SAS Systemビューアのインストール」を参照してください。

動的データ交換 (DDE)

動的データ交換 (Dynamic Data Exchange : DDE) により、他のDDE機能をサポートしているアプリケーションとSAS 9.2 Foundationの間でデータが交換できます。SAS 9.2 Foundationは、クライアントとしてだけ機能します。

電子メール

プルダウンメニューに [ファイル] - [メールの送信] があります。[メールの送信] を選択することにより、SAS 9.2 Foundationから電子メールを送信できます。また、DATAステップのファイルアクセス方式や、SAS/AFのSCLを使用して送ることもできます。MAPIおよびVIMのメールAPIをサポートしています。これらは、Microsoft Outlook、Microsoft Outlook Express、Lotus Notes 4.0以降 (32ビット版のみ) などのサードパーティ製品のインストールが必要になります。MAPI経由でSMTPサーバーにアクセスするには、インターネットに接続する必要があります。

Lotus Notes

Lotus Notesアクセス方式であるNOTESDBを使用すると、SAS 9.2 FoundationからLotus Notesに新しいドキュメントを直接生成することができます。NotesSQL ODBCドライバを使用するとSAS 9.2 FoundationからLotus Notesドキュメントにアクセスできます。この機能を利用するには、Lotus Notes Desktopのライセンスがインストールされている必要があります。SAS 9.2 Foundationでは、32ビット版のLotus Notes 4.0以降をサポートしています。

SAS Service Configuration ユーティリティ

SAS管理者は、特定のコンピュータ上でサービスとして実行されているSAS 9.2 Foundationの機能をSAS Service Configurationユーティリティを使用してカスタマイズすることができます。SAS Service Configurationユーティリティを使用するには、0.5MBのディスク容量が必要です。

詳細は、『64-bit Microsoft Windows Itanium版SAS 9.2 Foundation 設定ガイド』の「SAS Service Configurationユーティリティ」の章を参照してください。

必要なディスク容量

同梱のメディアには、SASプロダクトがすべて含まれています。ライセンスを取得しているプロダクトが、SASインストーラデータによってカスタマイズされてインストールされます。次の表には、64-bit Windows版SAS 9.2 Foundationで使用できるすべてのプロダクトの必要なディスク容量が示されています。SAS 9.2ソフトウェアのインストールに必要なディスク容量はこの表で確認できます。必要なディスク容量は、インストールディスクドライブのブロック化係数や圧縮方法によって異なります。下記のプロダクトの必要なディスク容量は、HTML Helpシステムを使用する場合を想定しています。また、これらの数値はすべて参考値であることに注意してください。

プロダクト名	必要なディスク容量 (MB)
Base SAS	550.2
SAS High-Performance Forecasting	13.7
SAS/ACCESS Interface to DB2	1.0
SAS/ACCESS Interface to Oracle	1.0
SAS/AF	4.9
SAS/CONNECT	4.2
SAS/EIS	25.1
SAS/GIS	63.2
SAS/GRAPH	88.2
SAS/IntrNet	4.9
SAS Integration Technologies	8.8
SAS/LAB	10.6
SAS/SHARE	1.1
SAS/TOOLKIT	1.1

DBCS サポート

次の表には、DBCSサポートを提供するSAS 9.2コンポーネントの必要なディスク容量が示されています。

プロダクト名 (DBCSサポート)	必要なディスク容量 (MB) *
SAS 9.2 DBCSサポートファイル	34.0
SAS/ACCESS Interface to DB2 DBCSサポートファイル	0.9
SAS/ACCESS Interface to Oracle DBCSサポートファイル	0.3
SAS/AF DBCSサポートファイル	0.5
SAS/CONNECT DBCSサポートファイル	1.1
SAS/EIS DBCSサポートファイル	0.4
SAS/Lab DBCSサポートファイル	1.9
SAS/SHARE DBCSサポートファイル	0.1
合計	39.20

DBCS サポートの表についての注意

- 実際のディスク容量は、0.1MB単位で四捨五入されています。そのため、値はインストーラによって示されるものとわずかに異なります。

国際言語サポート (NLS : National Language Support)

次の表には、アジア言語のサポートを提供するSAS 9.2コンポーネントの必要なディスク容量が示されています。

サポート言語	必要なディスク容量 (MB) *	該当する表
中国語 (簡体字)	174.0	下記
中国語 (繁体字)	54.0	下記
日本語	262.0	7ページ
韓国語	174.0	8ページ

アジア言語サポート (ALS)

次の表には、いくつかのアジア言語のサポートを提供するSASコンポーネントの必要なディスク容量が示されています。

繁体字中国語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
Base SAS繁体字中国語サポートファイル	3.0

簡体字中国語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
Base SAS簡体字中国語サポートファイル	47.8
SAS/ACCESS Interface to DB2簡体字中国語サポートファイル	0.9
SAS/ACCESS Interface to Oracle簡体字中国語サポートファイル	0.9
SAS/AF簡体字中国語サポートファイル	2.0
SAS/CONNECT簡体字中国語サポートファイル	0.9
SAS/EIS簡体字中国語サポートファイル	1.9
SAS/GIS簡体字中国語サポートファイル	1.8
SAS/IntrNet簡体字中国語サポートファイル	1.8
SAS/LAB簡体字中国語サポートファイル	0.6
SAS/SHARE簡体字中国語サポートファイル	0.8
合計	59.4

日本語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
Base SAS日本語サポートファイル	78.1
SAS/ACCESS Interface to DB2日本語サポートファイル	0.9
SAS/ACCESS Interface to Oracle日本語サポートファイル	0.9
SAS/AF日本語サポートファイル	2.0
SAS/CONNECT日本語サポートファイル	0.9
SAS/EIS日本語サポートファイル	10.1
SAS/GIS日本語サポートファイル	1.8
SAS/IntrNet日本語サポートファイル	1.8
SAS/LAB日本語サポートファイル	0.4
SAS/SHARE日本語サポートファイル	0.8
合計	97.7

韓国語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
Base SAS韓国語サポートファイル	47.8
SAS/ACCESS Interface to DB2韓国語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to Oracle韓国語サポートファイル	0.1
SAS/AF韓国語サポートファイル	2.0
SAS/CONNECT韓国語サポートファイル	0.9
SAS/EIS韓国語サポートファイル	1.9
SAS/GIS韓国語サポートファイル	1.8
SAS/IntrNe韓国語サポートファイル	1.6
SAS/LAB韓国語サポートファイル	0.6
SAS/SHARE韓国語サポートファイル	0.8
合計	57.6

プロダクト要件

Base SAS

Microsoft WindowsにおけるSPDエンジンの必要条件

下記のガイドラインは、SPDエンジンをサポートする必要最小限のシステムを示しています

- 少なくとも2つのCPU（4つのCPUが望ましい）を持つSMP（Symmetric Multiple Processor：対照型マルチプロセッサ）コンピュータ
- 2つのCPUごとに、少なくとも1つのI/Oチャンネル
- CPUごとに少なくとも1つの専用のマウントポイントを持つディスクドライブ。CPUごとに2つのマウントポイントを推奨。

Base SASでODS Graphicsを使用するには、SAS/GRAPHのライセンスが必要です。

SAS High-Performance Forecasting

SAS High-Performance Forecastingのインストールには、Base SASが必要です。

SAS/ACCESS Interface to DB2

含まれるSASプロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to DB2

必須DBMS製品

IBM DB2 Clientソフトウェア（Version 8.1 FixPak 4以降）のうち、次のいずれかが必要です。

- IBM DB2 Run-Time Client
- IBM DB2 Administration Client
- IBM DB2 Application Development Client

また、AS/400、VSE、VM、MVS、z/OSのシステム上にあるDB2データベースに接続するには、IBM DB2 Connectのインストールが必要です。

DB2を使用する前に、DB2サーバーへの接続のために適切なIBM DB2クライアントソフトウェアをインストールする必要があります。クライアント設定の詳細は、データベース管理者にお問い合わせください。

SAS/ACCESS Interface to DB2の詳細は、『SAS/ACCESS Software for Relational Databases: Reference』の「DB2」の章を参照してください。

SAS/ACCESS Interface to ODBC

含まれるSASプロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to ODBC

必須DBMS製品

- アクセスするデータソースの64ビット版ODBCドライバ

このドライバは、DBMSベンダーやODBCドライバを開発しているサードパーティから提供されます。ネットワーク経由でアクセスする場合は、ドライバによってはさらにDBMSソフトウェアが必要になることがあります。DBMSベンダーが提供するネットワークソフトウェアをご利用の場合は64ビット版であることをご確認ください。

詳細は、『64-bit Microsoft Windows Itanium版SAS 9.2 Foundation 設定ガイド』を参照してください。

SAS/ACCESS Interface to OLE DB**含まれるSASプロダクト**

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to OLE DB

必須DBMS製品

- OLE DBデータソースプロバイダ

SAS/ACCESS Interface to OLE DBを利用するには、アクセスするデータソースのOLE DBプロバイダが必要です。OLE DBプロバイダは、DBMSベンダーやサードパーティから提供されます。ネットワーク経由でアクセスする場合は、OLE DBプロバイダによってはさらにDBMSソフトウェアが必要になることがあります。DBMSベンダーが提供するネットワークソフトウェアをご利用の場合は64ビット版であることをご確認ください。

SAS/ACCESS Interface to Oracle**含まれるSASプロダクト**

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to Oracle

必須DBMS製品

- Oracle Server Release 8.1.7以降
- Oracle Client, Release 9.2 (64ビット) 以降

SAS/ACCESS Interface to Oracleは、Oracle RDBMSサーバーノードとOracleクライアントノードのどちらにもインストールできます。

注意： SAS/ACCESS Interface to Oracleのバルクロード機能を利用するには、Oracle SQL*Loader data-loadingユーティリティをインストールする必要があります。Oracle インストーラを実行してOracle Utilitiesプロダクトを選択すると、このユーティリティがインストールされます。SQL*Loader に関する詳細は、Oracleのドキュメントを参照してください。

SAS/ACCESS Interface to PC Files

含まれるSASプロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to PC Files
- SAS PC File Server (Windows 32-bitシステム上で実行しているもの)

必須DBMS製品 (Windows)

- Microsoft Jet 4.0 Components
- Microsoft Data Access Components (MDAC)、Version 2.7以降

SAS/ACCESS Interface to PC Filesは、Windows上のさまざまなフォーマットのファイルへのアクセスをサポートします。

Microsoft 社が64-bitバージョンのMicrosoft JET Componentsをサポートしないため、SAS/ACCESS Interface to PC Filesは、クライアントサーバーも出るソリューションを使用した、Microsoft AccessデータベースファイルおよびMicrosoft Excelワークブックファイルへのアクセスをサポートします。Microsoft ACCESSデータベースファイル (.mdb)、Microsoft Excelワークブックファイル (.xls) もしくは、その他のODBCをサポートしているデータソースにアクセスするために、SAS/ACCESS Interface to PC F i l e s は、PC File Server (pcfserver.exeもしくは、pcfservice.exe) がWOW (Windows -On-Windows) サブシステムを導入したWindows 32-bit システムもしくは、Windows 64-bitシステムで実行されている必要があります。

SAS/AF

必須SASプロダクト (アプリケーション作成時)

- Base SAS
- SAS/AF
- SAS/GRAPH (グラフィックオブジェクトを使用する場合)

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

必須SASプロダクト (アプリケーション実行時)

- Base SAS
- SAS/GRAPH (グラフィックオブジェクトを表示する場合)

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

プリンタ

- グラフィックスペースオブジェクトを印刷するには、カラーまたはグレイスケールのプリンタが必要です。
- グラフィックスペースでないオブジェクトを印刷する場合、オブジェクトによってSAS/GRAPHが必要になることがあります。

SAS/CONNECT

含まれるSASプロダクト

- Base SAS

SAS/SHAREは、TCP/IPアクセス方式を使用し、Windows付属のMicrosoft TCP/IP System Driverをサポートします。

SAS/EIS

必須SASプロダクト (アプリケーション作成時)

- Base SAS
- SAS/AF
- SAS/EIS
- SAS/FSP
- SAS/GRAPH

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

必須SASプロダクト (アプリケーション実行時)

- Base SAS
- SAS/GRAPH
- SAS/EIS

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

メモリ

- 128MB

SAS/GIS

必須SASプロダクト (アプリケーション作成時)

- Base SAS
- SAS/AF
- SAS/GIS
- SAS/GRAPH

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

必須SASプロダクト (アプリケーション実行時)

- Base SAS
- SAS/FSP
- SAS/GIS
- SAS/GRAPH

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

プリンタ

カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。利用可能なプリンタは、16ページの「グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性」を参照してください。

ディスプレイ

- 256色のディスプレイアダプタを推奨します。

SAS/GRAPH

WebブラウザからSAS/GRAPH ActiveX Graphコントロールを実行するには、32ビット版Internet Explorer 7以降が必要です。64ビット版のInternet Explorerでは、SAS/GRAPH ActiveX Graphコントロールはサポートされません。

WebブラウザからSAS/GRAPH Javaアプレットを実行する場合も、32ビット版Internet Explorer 7が必要です。

SAS/IntrNet

SAS/IntrNetは、個別にインストールすることができる複数のコンポーネントで構成されています。SAS/IntrNet Serverは、既存のSAS System上にインストールされます。SAS/IntrNet ServerはSAS 9.2のメディアに同梱されています。

CGI ツールとアプリケーション

Application Dispatcher

必須 SAS プロダクトは、Base SAS と SAS/IntrNet です。Application Dispatcher の Application BrokerコンポーネントをWebサーバーにインストールする必要があります。

htmSQL

必須 SAS プロダクトは、Base SAS と SAS/SHARE で、SAS/IntrNet のライセンスも必要です。htmSQLコンポーネントをWebサーバーにインストールする必要があります。

MDDBLレポートビューアアプリケーション

必須 SAS プロダクトは、Base SAS、SAS/GRAPH、SAS/IntrNet、SAS/EIS または SAS OLAP Server です。Application Dispatcherコンポーネントをインストールする必要があります。

Xplore Sample Webアプリケーション

必須 SAS プロダクトは、Base SAS と SAS/IntrNet です。Application Dispatcherコンポーネントをインストールする必要があります。

Design-Time Controls

必須 SAS プロダクトは、Base SAS と SAS/IntrNet です。Application Dispatcher の Application BrokerコンポーネントをWebサーバーにインストールする必要があります。

Java Tools とアプリケーション

SAS/CONNECT Driver for Java

必須 SAS プロダクトは、Base SAS、SAS/CONNECT、SAS/IntrNet です。データサービスを使用する場合は、SAS/SHARE もインストールする必要があります。Java Tools パッケージは、Webサーバーまたはクライアントにインストールする必要があります。

トンネル機能

UNIX または Windows の Webサーバーにインストールする必要があります。

SAS/LAB

含まれるSASプロダクト

- Base SAS
- SAS/FSP (対話形式でデータを入力する場合)
- SAS/GRAPH
- SAS/LAB

SAS/OR

SAS/ORでODS Graphicsを使用するには、SAS/GRAPHのライセンスが必要です。

SAS/QC

SAS/QCでODS Graphicsを使用するには、SAS/GRAPHのライセンスが必要です。

SAS/SHARE

含まれるSASプロダクト

- Base SAS

SAS/SHAREは、TCP/IPアクセス方式を使用し、Windows付属のMicrosoft TCP/IP System Driverをサポートします。

SAS/TOOLKIT

含まれるSASプロダクト

- Base SAS
- コンパイラ

SAS/TOOLKITは、C言語のみ正規にサポートしています。その他の言語はベータ版となります。

グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性

プリンタ

SAS/GRAPHは、HP-GL、HP-GL/2、PCLのポストスクリプト、および次のメーカーのプリンタで使用されているその他のプリンタ言語をサポートしています。

Brother、Canon、Hewlett-Packard、IBM、Konica Minolta、Lanier、Lexmark、Okidata、QMS、Ricoh、Sharp、Xante、Xerox

SAS.GRAPHは、WINPRINTM（モノクロ印刷プリンタ用）、WINPRINTG（グレイスケールをサポートしているプリンタ用）、WINPRINTC（カラープリンタ用）のいずれかのデバイスドライバをMicrosoft Windowsで使用するすべてのプリンタをサポートします。

以下に、SAS/GRAPH独自のドライバをサポートしているプリンタの一部を記載します。

- CalComp ColorMaster、ColorMaster Plus、PlotMaster
- Canon Bubble Jet、Laser Shot
- デジタルプリンタ（SIXEL、HP PCL、Tektronix、PostScriptのいずれかのエミュレーションモードをサポートするもの）
- Epson FX/LQシリーズ（またはEpsonエミュレーションモードで動作するプリンタ）
- Hewlett-Packard LaserJet、DeskJet、PaintJet、DesignJet（互換機を含む）
- IBM Graphics、Proprinter、ColorJet
- PostScriptプリンタ（カラー、グレイスケールPostScriptを含む）
- QMS Colorgrafix（CGMインタープリンタ使用）
- QMS 800、1200、1500、2200、2400（QUICまたはTektronixエミュレーションモード使用）
- Talaris 800、802、1200、1500、2400（QUICまたはTektronixエミュレーションモード使用）
- Talaris（EXCL言語使用）
- Tektronix Phaser（全モデル）
- Tektronix 4693（Tektronix 4510ラスタライザ使用）
- Xerox 2700、4045（GRAPHXカートリッジ使用）
- Xerox 3700（イメージボードと最低1MBのメモリ使用）
- Xerox 4030（テクニカルサポートにお問い合わせください）、4213、4235、4700
- Xerox 4700
- Xerox 5775カラーコピー（EFI Fiery使用）

上記のリストにないプリンタやPostScript、HP-GL、HP PCLをサポートしていないプリンタについてもドライバが用意されている場合があります。詳細は、弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

他のグラフィックソフトウェアとのインターフェイス

SAS/GRAPHには、バイナリ形式、文字形式、もしくはクリアテキスト形式のコンピュータグラフィックスメタファイル（CGM）を作成するドライバが含まれています。これによって、SAS/GRAPHの出力をWord for Windows、WordPerfect for Windows、Harvard Graphics、Lotus FreelanceのようなCGM形式のファイル入力をサポートしているソフトウェアや、CGM形式のファイル入力をサポートするデバイスで読み込むことができます。

SAS/GRAPHからEPSファイルを作成し、Microsoft WordやWordPerfectのようなワープロソフトで読み込むこともできます。

SAS/GRAPHでは、Windowsメタファイルも作成できます。Windowsメタファイルは、Microsoft Office、Lotus Smart Suite、Perfect Officeなどで読み込むことができます。詳細は、弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

SAS/GRAPHのHPGLもしくはHPGL2ドライバは、CorelDrawやMicrografx Designerなどの多くのベクターベースの描画プログラムで読み込むことができるファイルを作成できます。

SAS/GRAPHは、PDF用やSVG用のドライバに加えて、BMP、PBM、PPM、GIF、JPEG、EMF、WMF、PNG、TIFF、EPSI、PaintBrushのイメージフォーマットも用意しています。

また、SAS/GRAPHでは次の形式のグラフィックデータを読み込むことができます。

- BMP - Microsoft Windows Bitmap
- DIB - Device Independent Bitmap
- EMF - Microsoft NT Enhanced Metafile
- EPSI - Encapsulated PostScript Interchange
- GIF - Graphics Interchange Format
- JPG - JPEG Files
- PBM - Portable Bitmap
- PCD - PHOTO CD
- PCX - PC PaintBrush
- PNG - Portable Network Graphics
- TGA - TARGA Format
- TIF - Tagged Image File Format
- WMF - Microsoft Windows Metafile Format
- XBM - X Window Bitmaps
- XWD - X Window Dump

ActiveX と Java デバイスドライバによって作成された HTML ファイルの閲覧

SAS 9.2 Foundationでは、ActiveXとJavaデバイスドライバを利用してHTMLファイルを作成することができます。

HTMLを表示できるWebブラウザの詳細は、6ページの「SAS/GRAPH」を参照してください。

Javaアプレットを表示するには、Javaプラグインをそれぞれのクライアントにインストールする必要があります。Windows環境では、プラグインがインストールされていない場合、インストールされていないことが通知され、それにしたがってインストールすることができます。



THE
POWER
TO KNOW®

support.sas.com

SAS is the world leader in providing software and services that enable customers to transform data from all areas of their business into intelligence. SAS solutions help organizations make better, more informed decisions and maximize customer, supplier, and organizational relationships. For more than 30 years, SAS has been giving customers around the world The Power to Know®. Visit us at **www.sas.com**.

英語版更新日 July 30 2008

**64-bit Microsoft® Windows® Itanium 版
SAS® 9.2 Foundation システム必要条件**

2008年9月30日 第1版第1刷発行 (92A9)

発行元 SAS Institute Japan株式会社

〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー11階

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL: 03 (6434) 3680 FAX: 03 (6434) 3681